



《主な内容》

▽まちのわだい

鱈ヶ沢ヒラメのツケ丼40万食達成！

▽いきいき情報

3月は「自殺対策強化月間」です

▽お知らせ

町の文化団体紹介 ～新しい趣味を見つけませんか～ ほか

＜今月の表紙＞ つくしの森 豆まき会

2月3日、認定こども園つくしの森で豆まき会が行われました。何のために豆まきを行うか説明を受けた園児は、途中から現れた鬼に必死に豆をまいていました。



セレモニーで記念証と記念品が贈られた福井さん（中央左）と神さん（中央右）

鰯ヶ沢町ご当地グルメ ヒラメのツケ丼40万食達成！

ヒラメのツケ丼提供店

【店内での提供】

ドライブイン汐風（通年提供）
食事処 地魚屋 たきわ（冬期間休業）
割烹 水天閣（通年提供）
ホテルグランメール山海荘（通年提供・要予約）
食堂どん（通年提供）
鰯ヶ沢温泉 水軍の宿（通年提供・要予約）
ロックウッド・ホテル&スパ（期間限定提供・要予約）
食事処 波真夕（通年提供）
居酒屋 良治（通年提供）
居酒屋 児雷也（通年提供）

【弁当での提供】

スーパーとびしま（通年提供）
K2マート（通年提供）
鰯ヶ沢魚河岸かさほう（五所川原市・通年提供）

※水揚げや仕入れ状況により提供できない場合がありますので、事前に各店舗へお問合せください。

町のご当地グルメ「ヒラメのツケ丼」が令和7年1月末に累計40万食を達成しました。

これを記念し、2月4日、割烹水天閣で40万食達成セレモニーが開催され、この日最初にヒラメのツケ丼を注文した町内在住の福井奈緒美さんと神愛さんに記念証と記念品などが贈られました。

記念証を手渡した平田町長は「45万食を目指して、地元の皆さんにもツケ丼を食べてもらい、PRをしてほしい」と話しました。

福井さんと神さんは「鰯ヶ沢は魚がおいしいところなのでもっと多くの人にきてほしい」と話していました。

ヒラメのツケ丼は、町で開催される食イベントのほか、県内外で開催されるイベントでも人気で自慢のご当地グルメです。ぜひ、町民の皆さまもツケ丼を味わうとともにPRにご協力をお願いします。

問企画観光課 観光商工班 [☎82-0923]



除雪作業を行う従事者たち

鰯ヶ沢町緊急除雪支援センターを設置

1月10日、鰯ヶ沢町社会福祉協議会は鰯ヶ沢町緊急除雪支援センター（雪からまもる隊♡）を設置しました。

これは、豪雪により独居高齢者や高齢者世帯の家屋等の倒壊や玄関から出られず孤立することを防ぐために設置したものです。

設置当日は社協職員や生き生きワークセンター会員、除雪協力者、町職員らが参加し、和開地区の高齢者宅の除雪作業に従事しました。今シーズンの同センターへの問合せは37件あり、そのうち実際に対応したのは28件でした。

町消防団出初式 無火災を願い団結を誓う

1月12日、「鰯ヶ沢町消防団出初式」が開催され、富田名重団長をはじめ団員約200名がJR鰯ヶ沢駅前に一堂に会し、ポンプ車など34台が集結しました。

これは、町消防団が消防精神を養い、各分団が信頼と協力のもとに消防体制を強化することを目的に行っています。

寒空の中、観閲者の加藤副町長らによる視閲（服装点検）を受けた団員は、分列行進を披露後に白八幡宮へ移動し、関係者とともに今年の無火災を祈りました。

また、山村開発センターで行われた式典では、消防団員が威勢よくまとい振りを披露し、日頃の練習の成果を発揮していました。



行進を披露する消防団員



講演を行った山崎代表

ニホンザルによる被害対策を学ぶ

1月17日、鰯ヶ沢町鳥獣被害防止対策協議会（平田衛会長）主催によるニホンザル被害対策研修会が山村開発センターで行われ、約30名が参加しました。

研修会では、北限のニホンザルネットワークの山崎秀春代表を講師に招き、ニホンザルの生態や西海岸地域での分布、追い払い対策などについて学びました。

令和5年度のニホンザルによる被害は県内31市町村で確認されており、群れ数や個体数の増加、行動範囲の拡大により、被害額は年々増加傾向にあります。畑や家庭菜園などに被害がありましたら農林水産課農林班へご相談ください。

みんなで守ろう文化財 文化財防火デー

文化財防火デーの1月26日、富根町の延寿院（佐々木弘延住職）で、文化財を火災や震災などの災害から守るための訓練が行われました。鰯ヶ沢消防本部や消防署、町消防団第1分団第1部の団員ら約20名が参加し、本堂からの出火を想定した放水作業と文化財を運び出す訓練をしました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建築物である法隆寺金堂の壁画が焼損したことを契機に昭和30年に定められました。そのため、この日を中心に全国的な文化財防火運動が展開され、町でも町内寺院の協力のもと、毎年防火訓練が行われています。



文化財を運び出す訓練の様子

毎月1日は「あじがさわ健康の日」

3月のテーマ「こころの健康」

～3月は「自殺対策強化月間」です～

3月は、就職や転勤、転居など、生活環境が大きく変化する時期で、自殺者数が増える傾向にあることから、国は3月を「自殺対策強化月間」とし、自殺対策に関する理解と関心を深めるとともに、自殺対策を総合的に推進することとしています。

日本の年間自殺者数と傾向

年間**21,881人**（令和4年）。交通事故者数のおよそ8倍です。男性が多くの割合を占める状況は続いています。さらにコロナ禍の影響で自殺の要因となる様々な問題が悪化したことなどにより、女性は2年連続の増加、若年層は過去最多の水準となっています。



自殺の背景

仕事や家庭の問題、複雑な人間関係などによる過度のストレス、また、孤独や孤立など、さまざまな要因による、悩みを抱えて心理的に“追いこまれた末の死”である場合がほとんどです。

もしもあなたが悩みや不安を抱えて困っている時には、気軽に相談できる場所があります。相談方法もいろいろなものがあるので、ご希望の窓口を選んで話してみませんか？



広報あじがさわ3月号と一緒に、心の健康づくりリーフレット「大切にしよう こころ、いのちQ&A」を配布していますので、ご覧ください。

五所川原保健所 こころの健康相談

3月13日（木）13:00～14:00 ☎0173-34-2108（要予約）



献血バスがやってきます!!

3月25日（火曜日）

【時間】10:00～11:40 13:00～16:00

【場所】鰺ヶ沢町役場前（受付：町民ホール）



ご協力よろしく
お願いします。

青森県では献血者数が年々減少し、令和4年度は47,127人で令和3年度と比較すると献血者数は535人減少しています。また、若年層の献血率も依然として低下傾向が続いています。

輸血を必要としている患者さんが安心して医療を受けられるよう、献血にご理解ご協力をよろしくお願いします。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種
66歳以上の方への助成がもうすぐ終了します【最終のご案内】

町では、独自の取組として、66歳以上の任意接種対象の方に高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成してききましたが、令和7年3月31日をもって終了します。
66歳以上の方でまだ接種していない方は令和7年4月1日からは全額自己負担になりますので、この機会に早めの接種をご検討ください。（定期接種の方への助成は、令和7年4月1日以降も継続して実施します。）

【費用助成の有無】※鰐ヶ沢町に住民票があり、過去に肺炎球菌の予防接種を一度も受けたことがなく次に該当する方

区分	対象者	令和6年度まで (令和7年3月31日まで)	令和7年度以降 (令和7年4月1日から)
定期接種	①接種日において65歳の方	助成あり	助成あり
	②接種日において60歳以上65歳未満で、 特定の障害を有する方	助成あり	助成あり
任意接種	③接種日において66歳以上の方	助成あり	助成なし

【接種費用】
自己負担額2,000円（生活保護受給者は無料）※町の助成金額は、自己負担額を除き約6,200円です。

【申込方法】
ほけん福祉課 健康推進班にご連絡ください。過去の接種歴を確認後、予診票をお渡しします。

【指定医療機関】
鰐ヶ沢病院 ☎72-3111 / 越前医院 ☎72-5151
あじがさわクリニック ☎72-5200 / 七ツ石内科 ☎72-2879
※やむを得ない事情により、上記指定医療機関以外での接種を希望する場合はご相談ください。

☎・☎ほけん福祉課 健康推進班[☎82-0955]

☆☆ あじがさわ元気健康ポイントラリー 当選者決定 ☆☆

令和6年度のあじがさわ元気健康ポイントラリーには、1,640口の応募があり、厳正なる抽選の結果110名の当選者が決定しました。
おめでとうございます!!
多数のご応募、ありがとうございました。

※当選者には、2月13日に当選のお知らせはがきを発送しています。

《抽選結果》

- ・1泊2日ペア宿泊券 5名
- ・商品券5,000円分 20名
- ・商品券3,000円分 40名
- ・町指定ごみ袋(中)2パック 15名
- ・町指定ごみ袋(小)2パック 30名

3月1日～3月8日は
「女性の健康週間」です

厚生労働省では、毎年3月1日から3月8日までを「女性の健康週間」と定め、女性の健康づくりを国民運動として展開しています。ライフスタイルが多様化する中で、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を過ごすための総合的な支援を目的とし、様々な取組や普及啓発を行っています。

また、女性特有の病気（乳がん、子宮頸がん）は早期発見が重要です。2年に1回のがん検診を受けて、自分の身体の状態をよく知っておくことが大切です。変化を見逃さず変化に気づいたらすぐに医師に相談するようにしましょう。

3月1日～3月7日は
「子ども予防接種週間」です

予防接種の受け忘れがないかこの機会に確認し、公費（無料）で接種できる期間内に接種しましょう。

●この春小学校に入学する皆さん
麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）2期の接種期限は3月31日までです。期限間近ですので接種はお早めに。

●小学校6年生の皆さん
二種混合ワクチンの接種期限は13歳の誕生日の前日までです。中学校に入学すると勉強や部活で忙しく接種を逃しがちになります。

●高校3年生の皆さん
日本脳炎の接種は完了していますか？20歳の誕生日の前日までは公費（無料）で接種できます。進学や就職で親元を離れると接種を逃しがちになります。

こんにちは！地域包括支援センターです!! ～介護のことで悩んでいませんか?～



高齢者虐待は、誰にでも起こりうる問題です。全国では年間18,000件以上が通報されており、実際には通報されずに見過ごされている虐待がその何倍にも及ぶと考えられます。

身体的虐待



- ・叩く、つねる
- ・身体を拘束する など

心理的虐待



- ・無視や悪口
- ・怒鳴る、ののしる など

性的虐待



- ・わいせつな行為の強要
- ・裸で放置する など

経済的虐待



- ・生活に必要なお金を渡さない
- ・年金や通帳を勝手に使う など

介護・世話の放棄、放任



- ・入浴させない、食事を与えない
- ・必要な治療や福祉サービスを受けさせない など

介護の負担を抱え込んでいませんか？

介護をする人は、思い通りにいかない戸惑いやストレスから心身ともに疲れきってしまい、「自覚がないままに虐待をしてしまう」ことも少なくありません。

- ▶ 言ったようにできないので、つい怒鳴ってしまう
- ▶ いいこと・悪いことを分かってもらうために叩く
- ▶ 認知症で徘徊するため部屋から出さない など

追い詰められる前に予防策をとりましょう

家族や近所の人に協力を求めたり、社会的なサービスを上手に利用しましょう。高齢者の対応で疑問がある時や、サービスの利用の仕方が分からない時は、地域包括支援センター等に相談して下さい。1人で抱え込むことはやめましょう。

☎ 問・ 問ほけん福祉課 地域包括支援センター [☎82-0959]



こども家庭センターだより



<母子支援ヘルパー継続研修会>

こども家庭センターのサービスの中に、産前産後の家事援助やお子さんの一時預かりなどを行う「ママサポート事業」があります。その業務を担っているのが、養成講座を受講し、町から認定を受けた「鰯ヶ沢町母子支援ヘルパー」の皆さんです。母子支援ヘルパーは、認定後も年1回研修を受けて、妊娠婦さんやお子さんの安全・健康を守るための知識や技術の習得に努めています。

今年度は、鰯ヶ沢消防署の救急救命士3名を講師に救命講習会を開催し、小児、乳児、新生児に対する心肺蘇生法と止血法などについて学びました。参加した母子支援ヘルパーや放課後ルーム応援団から積極的に質問が出され、とても活発な研修会になりました。



<冬休みルームの様子>

☆「みんなであそぼ」の日



☆みんなでブロック遊び



☆プラ板制作



問ほけん福祉課 こども家庭センター [☎82-0954]

✉ boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp



鰯高通信

○進路ガイダンス

1月16日、進路に対する意識を高め、具体的な進路選択を考える目的で、1年生を対象に進路ガイダンスが実施されました。進路を決めるポイントやこれからするべきことについて講師の先生のお話を聞いた後、分科会に分かれ職業の特徴や仕事の内容について知見を広げました。最後の小論文講座では、「希望の進路のために自分がしなければならぬこと」をテーマに実際に書いてみることで、文章構成の仕方を学ぶ機会となりました。



小論文を書き進める様子

○修学旅行

1月21日から24日まで、2学年が3泊4日の日程で京都・奈良・大阪・兵庫の関西方面に修学旅行に行っていました。

初日は奈良市内の薬師寺で説法を聞き、東大寺で柱くぐりをし、夜間外出を満喫しました。2日目は各班で事前にプランした自主研修で、京都市内の名所巡りや買い物堪能しました。ハードロックカフェの夕食も美味しかったです。3日目は、ユニバーサルスタジオジャパンを終日観光し、外国人観光客で混雑する中、アトラクション等を楽しみました。最終日は姫路城の壮大さに圧倒され、神戸市の南京町中華街の昼食で締めくくりにとなりました。普段とは違った経験を通して各自が思い出を胸に、無事帰ってきました。



薬師寺の前で記念撮影

○探究活動合同発表会

1月22日、西北地区高校生「みらいを創る」探究活動合同発表会が五所川原市のふるさと交流圏民センター（オレンシア）で開催されました。

本校からは、1年生の永谷莉子さんが「ABITAN iA ジャー ジーファームの誘客促進を目指して」をテーマに発表しました。永谷さんは、大好きな乳製品を生み出す町の地域資源である酪農業に着目し、フィールドワークで牛への餌やり体験やインタビュー調査を行いました。その中で感じた酪農業のやりがいや課題をもとに、酪農の魅力をもっと多くの人に知ってもらうために、何ができるかを考え、年間を通して誘客を推進するための解決策を提案しました。この日のために練習を重ね、堂々と研究成果を披露しました。



発表する永谷さん(左)とサポートする石沢俐緒さん(中央)と小野穂香さん(右)

○スーツ着こなしセミナー

1月23日、社会人としてよりよい未来を創るための豊かな知識と考える力を身に付ける目的で、3年生を対象に株式会社コナカさんによるスーツの着こなしセミナーが行われました。ワイシャツやネクタイ選びで大切なマナーや着こなしの実演などが行われ、卒業後に役に立つ知識を身に付ける機会となりました。



講師の説明を熱心に聞く3年生

～鰯ヶ沢高校行事予定～ (3月)

- 3月1日(土) 卒業式
- 3月6日(木) 選抜検査
- 3月14日(金) 選抜合格発表
- 3月24日(月) 入学予定者説明会
- 3月26日(水) 修了式・離任式

青森県立鰯ヶ沢高等学校

☎0173-72-2106

HP : <https://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/>

鱒ヶ沢町の文化団体を紹介します～新しい趣味を見つけてみませんか～

鱒ヶ沢町文化振興連絡協議会は、町内にある芸術文化団体の相互交流及び芸術文化の振興を図ることを目的として昭和49年から活動しています。

各団体の主な活動として、町民文化祭での作品の展示や伝統芸能の披露など、各種イベントに欠かせない存在です。しかし、平成29年度には32団体あったのが、現在は18団体にまで減少しました。ここ最近、コロナ禍による活動の自粛が解除されたことから、徐々に活動が戻ってきています。

今回は、それぞれの団体をご紹介します。明るくて楽しい仲間がいっぱいですので、ぜひ一緒に活動してみませんか。皆さん、お気軽に連絡先へお問合せください。見学も自由です。皆さんの加入をお待ちしております。

読 書

鱒ヶ沢読書会

代表者（連絡先）／川越祝子（☎72-2245）

活動内容／毎月第2金曜日活動、読書を通して視野を豊かにする、読書に関係する所を訪ね研修（年1回）を行う 他

俳 句

外海吟社

代表者（連絡先）／菊谷三朗

（☎050-1551-6807 事務局 藤田）

活動内容／毎月投句会を開催、町文化祭に参加 他

華 道

華道鱒ヶ沢龍生派

代表者（連絡先）／今千恵（☎090-3984-0181）

活動内容／月2回の稽古、五所川原市・弘前市文化祭に参加 他



北笛の会

代表者（連絡先）／白取文子

（☎080-1824-0119 事務局 堀内）

活動内容／毎月第3日曜日に活動、月1回の句会を開催、町文化祭に参加

絵 画

創美社

代表者（連絡先）／下山茂（☎72-4916）

活動内容／毎週木曜日（5月～10月）に活動、スケッチ会や創美展、スケッチ旅行を開催



茶 道

煎茶道方円流

代表者（連絡先）／成田恵子（☎72-2046）

活動内容／不定期での活動、気軽に楽しみながら、作法を身に着け、お茶をする

盆栽植木

花と木の会

代表者（連絡先）／唐牛勝雄

（☎72-5411 事務局 保村）

活動内容／年4～5回活動、栽木の育成に添って、土替え、枝切などの作業



書 道

清心書道会

代表者（連絡先）／寺沢キクエ（☎72-3705）

活動内容／毎月第1月曜、第2、3、4日曜日に活動、北門書道会（弘前市）に加入し、毎月の競書出品、町文化祭に参加

舞玄書道会

代表者（連絡先）／後藤シゲ子（☎82-2180）

活動内容／毎週土曜日活動、毎月弘前市と広島県の書道団体と競書提出、町の文化祭へ作品展示

写 真

鱈ヶ沢写真クラブ

代表者（連絡先）／加藤俊哉（☎72-2361）
活動内容／毎月第2木曜日活動、町文化祭に参加、県展への応募（任意）、独自の写真展の開催 他



伝 統 芸 能

鱈ヶ沢町無形文化財保存会

代表者（連絡先）／工藤八子（☎72-2295）
活動内容／毎月第3金曜日活動、町内小・中・高校の児童生徒の踊り指導、町行事へ協力



吹 奏 楽

鱈ヶ沢町吹奏楽団はまなすアンサンブル

代表者（連絡先）／神美代子（☎72-4135）
活動内容／不定期での活動、町文化祭に参加

大 正 琴

琴名流大正琴津軽名和会鱈ヶ沢渚会

代表者（連絡先）／清野哲子（☎090-7934-0044）
活動内容／毎月2回日曜日活動、老人ホームイベントへの協力

琴伝流大正琴鱈ヶ沢うぐいすの会

代表者（連絡先）／葛西喜美子（☎0173-73-2014）
活動内容／毎週月曜日活動、町文化祭に参加、老人ホームへの慰問

舞 踏 演 劇

高見会・深見ユキノ一行

代表者（連絡先）／荒谷幸枝（☎090-3980-5018）
活動内容／毎月1回活動（不定期）、高見会舞踊公演（五所川原市）、高見会合同チャリティーショーの開催 他

舞 踏 ダ ン ス

漁火会

代表者（連絡先）／安田ツエ（☎72-5876）
活動内容／毎週水曜日活動、町内の行事への参加、他の団体への出演協力

サークル・ひめボタルの会

代表者（連絡先）／工藤トエ
（☎090-7068-3453 事務局 一戸）
活動内容／不定期での活動、入会条件あり

コ ー ラ ス

鱈ヶ沢しおさいコーラス

代表者（連絡先）／奈良修子
（☎72-6086 事務局 吉田）
活動内容／毎週月曜日活動、
20歳を祝う式典への協力 他



鱈ヶ沢町文化振興連絡協議会に加入しませんか

町教育委員会では、町内の趣味仲間での活動やサークル活動を支援します。文化振興連絡協議会へ加入することにより、町内の公民館等の会場使用料の減免などを受けられます。

あなたの趣味を応援します！！

詳しくは、下記へご連絡ください。



☎・問 鱈ヶ沢町文化振興連絡協議会事務局 社会教育課 社会教育班[☎82-0972]

眼科外来休診のお知らせ

都合により、下記外来診療日は休診となります。

◆眼科外来 3月18日(火)

みなさまのご理解とご協力をお願いします。

関つがる西北五広域連合 鰯ヶ沢病院[☎72-3111]

鰯ヶ沢スイミングクラブ〈幼児・学童コース〉 体験入学会を実施します！

期間▶ 3月1日(土)～3月21日(金)

※スイミングクラブの日程に基づきます。

場所▶ 鰯ヶ沢町室内温水プール

	幼児コース		学童コース
対 象	5歳児 R2.4.2 R3.4.1	6歳児 H31.4.2 R2.4.1	小学生 (新年度)1～6年生
曜 日	木曜日、土曜日		水～土曜日
時 間	木曜日 16:30～17:30 土曜日 16:00～17:00		水～金曜日 16:30～17:30 土曜日 16:00～17:00
受講料	1回1,200円		

※期間中、随時受付しています(受講予定日の1週間前まで)。申込用紙に記入のうえ、プール窓口でお申込みください。

電話予約も可能です。詳しくは下記までお問合せください。

申・関室内温水プール[☎72-5700]

★今月のおすすめ本★

《一般書》「板上に咲く」

著：原田 マハ／出版社：幻冬舎

「ワぁ、ゴッホになるっ！」

1924年、画家への憧れを胸に青森から上京した棟方志功。しかし、絵を教えてくれる師もおらず、材料を買うお金もなく、弱視のせいでモデルの身体の線を捉えることが難しい棟方は、帝展に出品するも落選続きの日々を送っていた。

やがて、木版画こそが自分にとっての革命の引き金になると信じ、油絵をやめ版画に注力することに…



《児童書》「おにのパンや」

作・絵：塚本 やすし／出版社：ポプラ社

じごくから おとどけ！

「おにパン」のお味はいかが？

パンが売れないとじごくにかえれない！

えんま様にたのまれて地上にやってきた「おにのパンや」はおいしいパンを作れるのか…？

【おいしい！ わらえる！ 笑顔になる絵本】

おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで借りることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新刊図書は好評につき、貸出中場合があります。1人2冊までの貸出制限にご理解とご協力をお願いします。〈予約可〉

日本海拠点館では小学生以下のお子さんを対象に「こどもブックラリー」を実施しています。奮ってご参加ください。

開館時間▶ 9:00～17:00

休 館 日▶ 月、火曜日

(図書コーナーのみ第4木曜日もお休みです。)

返却場所▶ 日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

関日本海拠点館 図書コーナー[☎72-5555]



株式会社CONVEYさんから本を寄贈していただきました

パーティー料理などの通信販売を行う株式会社CONVEY(建石町/松本絵美奈代表取締役社長)より、作成に関わった料理本など計4冊を寄贈していただきました。

今回の寄贈は、昨年11月に鰯ヶ沢中学校で行われた「働く人との対話集会」に、同社の松木社長が講師として参加したことがきっかけで実現したものです。中学生に対して自身の職業の魅力を伝えることをとおして、町のみなさんにもっと知って欲しいとの思いを持たれ、寄贈を申し出てくださいました。

寄贈いただいた以下の図書は、日本海拠点館図書コーナーにて貸出中ですので、ぜひご覧ください。



寄贈いただいた書籍

① やっぱり肉料理

カリフォルニア・キュージーヌのとおきレシピ/大和書房

② 料理に役立つ香りと食材の組み立て方/誠文堂新光社

③ 男子厨房居酒屋料理/成美堂出版

④ Then and There 久松農園のおいしい12カ月/エイアンドエフ

関社会教育課 社会教育班[☎82-0972]

転出届はマイナポータルから！

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインで転出届及び転入予約（来庁予約の連絡）ができます。

詳しくは、デジタル庁ホームページをご覧ください。

※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届などの手続きが必要です。

マイナポータル
「引越手続きに
ついて」



デジタル庁
政策ページ
「引越手続きオン
ラインサービス」



問総合窓口課 戸籍年金班[☎82-0937]

鯉ヶ沢町子ども医療費受給資格証の更新手続きをお忘れなく

1. 就学前のお子さんの更新手続き

小学校就学前のお子さんの受給資格証の有効期限は1年間となっており、毎年、お子さんの誕生月に受給資格証の更新手続きが必要です。今一度、受給資格証の有効期限をご確認ください。万が一有効期限が過ぎている場合は、速やかに更新手続きをお願いします。



2. 小学校へ入学するお子さんの更新手続き

4月から小学校へ入学するお子さんの受給資格証の有効期限は、3月31日までとなっており、受給資格証の更新手続きが必要です。

対象となるご家庭には、3月上旬に申請書を郵送しますので、必要事項をご記入のうえ期限内に更新手続きをお願いします。

3. 高等学校を卒業するお子さん（高校生年代含む）の受給資格喪失

3月に高等学校を卒業するお子さん（高校生年代含む）は、有効期限が3月31日までです。受給資格証は、ご家庭で破棄してくださるようお願いします。

申・問ほけん福祉課 子ども家庭班[☎82-0952]

令和7年度手話奉仕員養成講座受講者募集

聴覚障がい者の生活と福祉制度への理解と認識を深め、日常生活に必要な手話を習得する「手話奉仕員養成講座」を開催します。手話に興味のある方は、ぜひお申込みください。

■入門課程

日 時▶ 4月15日～10月21日（毎週火曜日）
19：00～20：30

場 所▶ つがる市生涯学習交流センター「松の館」

内 容▶ 手話実技・講義・交流

対 象▶ 聴覚障がい者との交流を希望し、
手話を学びたい16歳以上の方

定 員▶ 20名

受 講 料▶ 無料

※テキスト代、動画視聴システム代は自己負担

申込締切▶ 3月21日（金）必着

■基礎課程

日 時▶ 4月25日～11月14日（毎週金曜日）
19：00～20：30

場 所▶ 五所川原市中央公民館

内 容▶ 手話実技・講義・交流

対 象▶ 入門課程修了者

定 員▶ 15名

受 講 料▶ 無料

申込締切▶ 3月31日（月）必着



■申込方法

- ・往復はがきでお申込みください。受講の可否は返信用はがきでお知らせします。
- ・往信のあて先には「〒038-3102 つがる市柏下古川稲森22 西北五ろうあ協会事務局あて」と記入してください。
- ・往信のうらには、①受講希望課程名、②郵便番号・住所、③氏名・年齢、④連絡先（メールアドレスまたは携帯電話番号）を記入してください。
- ・返信のあて先には、申込者の住所・氏名を必ず記入してください。
- ・返信のうらには、何も記入しないでください。

問ほけん福祉課 福祉班[☎82-0951]、西北五ろうあ協会事務局[FAX：0173-33-1256]

生活困窮に関する困りごと相談はこちらへ あんしん相談窓口あじがさわ

鯉ヶ沢町社会福祉協議会では、生活費の確保が難しい方（失業、病気など）の相談を受付けています。

また、相談ツールのひとつとして、メール相談・LINE相談も行っています。ひとりで悩まず、お気軽に下記までご相談ください。

費用は無料、秘密は厳守します。

メール相談用アドレス ajisya@chic.ocn.ne.jp

☎鯉ヶ沢町社会福祉協議会[☎82-1602]

LINE相談は
こちらから



林業座談会

つがる森林組合では、今後の森林・林業の発展につなげることを目的として林業座談会を開催します。

森林・林業の情勢と造林補助事業の改正部分や森林環境税、森林経営計画等の諸施策を説明します。

現在、山の手入れや今後の管理に悩んでいる方は、ぜひお越しください。

■開催日時・場所

・3月19日（水）10：00～

鯉ヶ沢町中央公民館 2階大会議室

☎つがる森林組合 本所[☎72-2436]

小さな掛金、大きな補償 インターネットでかんたん加入

スポーツ安全保険はスポーツ活動、文化活動、ボランティア活動など4名以上の団体を対象とした保険です。保険の詳しい内容、資料の請求は、(公財)スポーツ安全協会のホームページをご覧ください。

【保険期間】

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

☎(公財)スポーツ安全協会[☎03-5510-0033]

詳細は
こちらから



--- 社会福祉法人 音羽会 ---

〒038-2712 鯉ヶ沢町大字長平町字甲音羽山 65-412

介護老人保健施設 ながだい荘（入所・通所）

☎0173-72-1122

グループホーム うぐいすの里 ☎0173-72-1314

〒036-8066 弘前市向外瀬戸豊田 319-1

住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

シニアシティ弘前 ☎0172-55-5858

天然温泉、全個室：エアコン・トイレ・洗面台・ミニキッチン（IHヒータ）付

ホームページ <http://otowakai.or.jp/>

鯉ヶ沢スタンプ発行終了についてのお知らせ

平素より鯉ヶ沢スタンプ会加盟店をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、鯉ヶ沢スタンプ会は、誠に勝手ながらスタンプの発行及び換金業務について、下記日程をもって終了とさせていただきます。

これまで長きにわたり鯉ヶ沢スタンプ会をご利用くださいましたお客様に心より感謝申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

スタンプ発行終了日
令和7年6月30日(月)

スタンプ交換終了日
令和7年9月30日(火)

【お問合せ先】

鯉ヶ沢スタンプ会（鯉ヶ沢町商工会内）

TEL：0173-72-2376

医療法人 梶衆会



七ツ石内科

鯉ヶ沢町大字七ツ石町27-1

TEL 0173-72-2879

外来診療・オンライン診療

院長 今 昭人

■受付時間／ 午前 8：30～13：00
午後 14：30～18：00

■休 診 日／ 木曜日・日曜日・祝日

広報あじがさわ有料広告

鯉ヶ沢町民限定感謝プラン

ラウンジ・夕食のドリンクを
自由に好きなだけ堪能できる
オールインクルーシブ

1泊2食付ビュッフェコース

特別価格
お一人様 **11,000円**

※土曜日は料金+2,200円

(税込) +入湯税

ご予約はこちら
公式ホームページに遷移します



TEL：0173-72-8112

(10:00~12:00/14:00~16:00 日月祝日休み)



鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1



鯉ヶ沢温泉
ホテル グランメール山崎

宿泊期間 2025.3.1～3.31

宿泊代表者が鯉ヶ沢町民であればOK！
お部屋タイプはおまかせ(指定不可)

町制施行135周年 時の年輪

第5回 鰯ヶ沢町合併から70年

ANNIVERSARY
135TH
SINCE 1889

鰯ヶ沢町は、明治22年（1889）

4月1日の市町村制施行により、青森県で最も古い「町」の一つとして誕生。昨年で町制施行から135周年を迎えました。ここまで、町の節目となる出来事を「時の年輪」としてふり返ってきましたが、最後に、今からちょうど70年前、現在の鰯ヶ沢町につながる大きな歴史の転換点となった昭和の町村合併を取り上げ、シリーズの幕を閉じたいと思います。

■大合併への道

昭和30年（1955）3月31日、

鰯ヶ沢町・赤石村・鳴沢村・中村・舞戸村が合併して、新鰯ヶ沢町となりました。しかし、その道のりは決して平坦

なものではありませんでした。

当時、いわゆる「昭和の大合併」が全国的に進められていく中で、まず動き始めたのは鰯ヶ沢町・舞戸村・中村による合併案でした。昭和28年10月には、県も加わって3町村による合併促進協議会が開催されます。中村川を挟んで古くから交流の深い鰯ヶ沢町と舞戸村、米・材木など村の産物の流通を鰯ヶ沢駅のある舞戸村に依存していた中村は、それぞれ共通する利害が多かったのです。ただしこの合併案は、当時、鰯ヶ沢町が財政赤字に陥っていたこともあり、すぐに結論が出ませんでした。

この状況を打開するため、県からは、赤石村・鳴沢村を加えた5町村により



鳴沢村長
神 四平



赤石村長
兼平清衛



鰯ヶ沢町長
山屋辰夫

合併時の町村長
合併後は神四平が町長職務執行者を務め、5月選挙で山屋辰夫が初代新町長となった
齋藤・神は後に県議に転じた



舞戸村長
中村元吉



中村長
齋藤豊三郎

財政基盤を安定させる大合併案が浮上。昭和29年に入り、ようやく合併への動きが本格化することになります。

■新鰯ヶ沢町の誕生

大合併に向けて進み始めた5町村でしたが、当時財政が豊かだった赤石村からの時期尚早論、舞戸村の村有財産問題、さらに鰯ヶ沢町長の太田瀬村（現深浦町）までを加えた「津軽市（仮称）」構想もあり、1年近くも話し合いが難航。実際、この時期には、太田瀬村でも深浦町との合併反対の意見が根強く、状況は混沌としていました。こうした情勢から、鳴沢村では、逆に木造町（現つがる市）への編入合併を目指す動きをみせるようになります。

まさに待ったなしの情勢の中、昭和30年2月、5町村はお互いの利害や感情を乗り越え、将来の発展のために大同団結することを決断します。3月10日、5町村は一堂に議會を開き、3月31日から新たな町として発足すること

合併前の西津軽郡（昭和28年9月時点）
・鳴沢村から出来島を木造町へ編入（昭和30年）
・中飛地と松代を岩木町と境界変更（昭和50年）



を議決。鳴沢村では、大字出来島が地勢的に近い木造町（3月30日合併成立）に編入されました。

かくして、当時県内で3番目の面積となる約340平方キロメートル、人口23734人にも及ぶ大合併は、ついに実現の日を迎えます。町名は、津軽藩御用港として知られた「鰯ヶ沢町」を採用。役場の位置は、当初駅周辺とする案もありましたが、最終的に旧鰯ヶ沢町役場に決まりました。

この昭和の大合併により、鰯ヶ沢町は、それまでの港町から、岩木山や白神山地をも含む山海の豊富な資源を有する広大な町へと大変貌しました。今日、「海・山・川」の全てが揃った鰯ヶ沢町の魅力の原点は、5つの旧町村が一体となったことで、生まれたと言ってよいでしょう。

今年（2025年）3月31日で、合併後の鰯ヶ沢町は、年齢でいえば70歳の古希を迎えます。子や孫の世代に、かつて存在した町や村の歴史や記憶を伝え、思いを託したその先に、わが町の未来が拓かれていくものと固く信じています。

（町学芸員 中田）



町村の廃置分合（合併）
についての申請書
（昭和30年3月14日）

津軽の中の鯺ヶ沢

第38回

日本海海運と鯺ヶ沢①

前回に引き続き、1840年代半ば頃の鯺ヶ沢の船問屋の取引状況について紹介します。今回は、竹屋伝次郎に寄港した廻船について見ていきます。

『青森県人名大事典』によると、竹屋は加賀国河北郡の生まれで、初めは弘前城下に住み、のちに鯺ヶ沢に移って船問屋を営んだといえます。光信公の館が所蔵する「鯺ヶ沢町絵図(2)」によると、本町の白八幡宮の鳥居付近に竹屋の店があったようです。天保15年(1844)8月4日に

竹屋の店を出港した廻船は合計47艘で、その後にさらに2艘が出港しています。船員数を見ると、2〜10人が20艘、11〜14人が8艘、15人以上が21艘と、千石船とそれを超える規模の船が6割以上だったと推定されます。また、出身地で分類すると、大坂が18艘で最も多く、若州(若狭国、現福井県)と加州(加賀国、現石川県)が9艘ずつ、能州(能登国、現石川県)が7艘、兵庫と越中が2艘ずつ、庄内と越前から1艘ずつとなっています。

竹屋の取引相手の傾向を総合すると、加賀の嶋崎徳兵衛や木谷藤右衛門、小浜の古河屋嘉太夫といった大規模経営を行った北前船主との取引が多いことがわかります。

つまり、竹屋は大船との大口取引によって財をなしていたのだと考えられます。

さて、竹屋はこれらの取引相手とどのような商品を取引したのでしょうか。今取り上げている資料の後半に、天保15年に鯺ヶ沢の船問屋が取り扱った商品について書かれている部分があります。それによると、竹屋は米・大豆などを取引しており、米は合計で2万5000俵余り、大豆は4300俵ほどと、米の取引が多かったことがわかります。

竹屋はこれらの米をどこから集めていたのでしょうか。櫻井冬樹著『北前船主の交流』には、竹屋と加賀の木谷家との取引の事例について紹介されています。それによると、竹屋は弘前藩の依頼によって木谷から金銭を借り、その返済に藩の蔵米を充てていました。つまり、藩の借金の手元として蔵米が取引されており、その仲介を竹屋が務めていたのです。一方で、天保4年に飢饉が起きた際には、竹屋が木谷から米や大豆を買い付けていました。

このように、竹屋は藩の取引を仲介する役割を通じて、大船の北前船主との関係を深め、取引を活発に行っていたのです。

(青森工業高校 蔦谷大輔)



鯺ヶ沢町合併70周年記念

パネル展
特別講座



入場
無料

昭和30年(1955)3月31日の鯺ヶ沢町合併から70周年を迎えることを記念し、町の歩みをふりかえるパネル展・特別講座を開催します。ぜひ足をお運びください。

パネル展

- ◆期 間 3月10日(月)～16日(日) 10:00～16:00
- ◆場 所 鯺ヶ沢町山村開発センター
- ◆内 容 昭和戦後期～町村合併以降の写真パネル等

特別講座

- ◆日 時 3月16日(日) 13:30～15:20
- ◆場 所 鯺ヶ沢町山村開発センター
- ◆テーマ 西北の中の鯺ヶ沢町

昭和の合併で消えた舞戸・中・鳴沢・赤石各村の歴史を振り返り、内なる鯺ヶ沢町の個性に迫ります。

そして平成の大合併で合併しなかった町を、西北津軽の市町村と比較し、外なる鯺ヶ沢町の位置づけを確認します



講師：中園 裕氏
県交通・地域社会
部地域生活文化課
＜県史担当＞

問鯺ヶ沢町中央公民館 [☎72-2859]

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

ごんじゅは！赤ちゃん（1月16日～2月15日届出分）

長谷川 ひまり 鞠（伸一） 松 島

ご結婚おめでとう！（1月16日～2月15日届出分）

（今 隆 晟（保木原）
栗 島 沙 帆（弘前市）

お悔やみ申し上げます（1月16日～2月15日届出分）

生 田 勝	(78歳)	中 村 町
佐々木 幸吉	(75歳)	山 田 野
岩 谷 テツ	(96歳)	坂 本 二
齋 藤 きみ	(87歳)	岩 本 谷
今 村 富子	(90歳)	浜 間 瀬
齋 藤 武則	(77歳)	長 間 瀬
長谷川 シヨ	(95歳)	北 浮 田
後 藤 勝利	(58歳)	浜 田 町
齋 藤 勝彦	(71歳)	坂 本 二
井 上 清藏	(90歳)	建 本 石
齋 藤 和一	(94歳)	館 石 町
今 まつみ	(95歳)	牛 島
石 岡 りつ	(86歳)	赤 石
工 藤 善一郎	(91歳)	岩 谷
齊 藤 ミエ	(89歳)	七 ツ 石
松 山 春江	(68歳)	牛 島
櫻 庭 健司	(98歳)	上 野
木 村 ユリ	(95歳)	赤 石
工 藤 スエ	(91歳)	種 里 町
山 田 ハロイ	(89歳)	細 ケ 平
見 崎 きみ	(98歳)	漁 師 町

鯉ヶ沢町の人口（令和7年1月末現在）

男 3,984人(3,999 - 15) 女 4,498人(4,506 - 8)
計 8,482人(8,505 - 23) 世帯数 4,323(4,339 - 16)
※カッコ内は先月との比較

交通事故発生状況（令和7年1月中）

発生件数 1件(± 0) 死者数 0人(± 0)
傷者数 1人(± 0) ※カッコ内は前年との比較
《お問合せ》鯉ヶ沢警察署交通課（☎72-2151）

法テラス鯉ヶ沢通信 Vol.112



六法⑤一刑法

六法を紹介するシリーズの第5弾は、刑法です。刑法は、犯罪と刑罰に関する法で、どんな行為をすると何罪になって、どれくらいの刑罰が与えられるかを定めています。

罪を犯した人に刑罰が与えられるのは、刑罰というプレッシャーをかけることで、罪を犯さないように働きかけ、犯罪が起きれば侵害されてしまう国民の人権を、事前に守ることができるからです。しかし、見方を変えれば、刑罰は、国が犯罪者の人権を侵害するものともいえます。犯罪者は、罰金を支払うよう強制されたり、刑務所に入れられたりするからです。そのため、刑罰を与えてよいかどうか、すなわち、ある行為が犯罪に当たるかどうかは、とても慎重に判断されています。

弁護士 佐々木 洋輔

法テラス
迷うあなたの
道しるべ



佐々木弁護士

【法テラス鯉ヶ沢法律事務所の概要】

- ◆所在地 〒038-2761
鯉ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鯉ヶ沢町総合保健福祉センター内
 - ◆業務時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)
 - ◆電話番号 050-3383-8369
 - ◆業務
①法律相談（面談による相談。★事前予約制★）
 - ・有料での法律相談
 - ・無料法律相談（収入や預貯金が少ない方。ただし、刑事事件に関する相談は対象外。）

※65歳以上のご高齢の方、障がいや病気などで外出ができない方など、法律事務所へ赴くことが困難な場合には、弁護士による出張法律相談ができる場合があります。お気軽に法テラス鯉ヶ沢法律事務所までお電話ください。
 - ②事件の受任
訴訟手続代理業務や債務整理代理業務など
- ～鯉ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～
弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください！！
お待ちしております。



— 第5回 —

鯉ヶ沢の大雪のニュースを見るたびにとても心配していました。春が待ち遠しいことと思います。アルゼンチンのほうは1月に入って夏本番になり、わたしは非常に強い日差しにやられています。無理なく、過ごしたいと思います。

現在、アルゼンチンでは、やはり暑さから来るのか、世の中は休暇の時期になっています。学校などは12月中旬から3月中旬まで3か月ほど休みで、会社も1月か2月にまとめて1か月間の休暇を取ることが一般的なようです。ところが相撲の選手たちは、稽古を休むどころか新人も増えたり、新しい稽古場が増えたりと彼らの相撲道の精進はますます加速する一方です。

今年1月からは、新たにプライベートの武道クラブにて相撲クラスが始まり、わたしの生徒が先生として教え始めました。「わたしがいる2年間のうちに、新たに自分の生徒から相撲の先生を出したいなあ」とぼんやり考えていたことが、ひょんなことから既に達成されました。彼には既に新しい生徒ができて順調にスタートを切りました。初心者への説明も上手で堂々と先生をしている彼を誇らしく思います。わたしに相撲を教えてくださいと頼ってきた鯉ヶ沢の先生方も、わたしのことをそう思っていてくれるといいなあと故郷に思いを馳せつつ、相撲の鯉ヶ沢



武道クラブでの稽古の様子です
「弓道」の文字が映えています



ブランドに恥じない活動をしよう！と気合を入れ直しています。

わたしが行く相撲の稽古はというと、型の練習からまた進歩して、現在は投げなどの決まり手になる技の練習を開始しました。JICA海外協力隊としての派遣期間は2年ですが、相撲の稽古を一からやるとなるととてもではありませんが、時間が足りません。引き技、投げ技、捻り技、足技、最後には反り技も予定しています。わたしはそれほど技が多彩なほうでないので、勉強しながら教えています。アルゼンチンでは、土の土俵はなく、マット上で練習しているので、痛みや傷の心配が減り、技の練習がしやすいと感じました。ちなみに、選手に一番人気の技は、内無双です。珍しい技ですが、華がありますよね。

一方、会長以下の先生方は、今年の計画の策定に忙しくしています。段の審査会、国内の大会、南米大会、世界選手権大会に向けた国内の選考会など今年も盛りだくさんの充実した年にしていきたいものです。



技の練習中です
ペアで練習、全体で確認して、を繰り返しています